

第3回 FD 研修会が開催されました

令和3年10月26日(火)に「第3回FD研修会」が開催され、22名の教職員の方々にご参加いただきました。当日の様子といただいた感想をご報告します。

第3回FD研修会：「データで見る主体的学習の状況と対策 ～学生の特性に合わせたアクティブラーニング～」

- 【講師】 東海大学理系教育センター 講師 白澤 秀剛 氏
- 【日時】 10月26日(火) 5限
- 【場所】 1350 教室
- 【参加】 22名(本学教職員)



本研修会では、東海大学理系教育センターで全学の情報教育を担当している白澤秀剛先生による学生の自己分析アンケート・データを活用したアクティブラーニングの効果的な実践方法の研修が行われた。内容は、1.学生の状況をデータで見る、2.ICTを活用したアクティブラーニング、3.学生の特性に合わせたアクティブラーニング実践であった。「学生の状況をデータで見る」では、事前に本学の学生の自己分析アンケートを行い、主体的学習分類とコミュニケーションスタイルインベントリー(CSI)が学部学科別、学年別に示された。主体的学習分類は、成長志向、完了志向、防衛志向、参加志向の4分類であり、CSIは、プロモータタイプ、コントローラタイプ、アナライザタイプ、サポータタイプに4分類である。学部学科別と学年別でそれぞれの特徴が示されたが、教員の感覚とは必ずしも一致しないところもあり、あくまで学生の自己認識として見るのが大切である。アクティブラーニングは、グループ分けにおける参加学生CSI志向により議論が偏る傾向があり、学生の自己分析アンケート・データを活用することの必要性が指摘された。

「ICTを活用したアクティブラーニング」では、研修会への参加教職員による自己分析アンケートが集計・共有や参加者のグループ分けした上でのZoomとiPadを使ったグループ間の競争意識などの相互関係を利用することでグループ・ディスカッションが活性化されることを実感した。これらのことを通じて、参加者は、「学生の特性に合わせたアクティブラーニング実践」を即席で体験することもできた。

今回の研修会資料は manaba folio、Stream に掲載されておりますのでご活用ください。ご不明な点などございましたら、教務学生課までご連絡ください。
※学外への配布はご遠慮いただきますようお願いいたします。

【参加者アンケートより】(抜粋 趣旨を変えずに編集してあります)

1. 研修会の感想をお願いします。

- * 資料やグループワークで一緒にさせていただいた先生方との交流で、授業に活用できそうな視点をいくつか得られ、とても有意義でした。また同様の研修があれば参加したいと思います。
- * コミュニケーションのスキルではなく、タイプによって自分の特徴を理解し、グループワークに生かすという観点は、学生にとってもレベルを測られるわけではなく、自分の長所を生かしながらグループワークに臨むことができ、良いと思った。
- * 本学の各学部生の学習姿勢に係る状況等を把握出来て良かった。
- * 今後の授業などで利用できそうな情報が得られました。
- * データを基に学習状況や対策を示唆してもらえ、とても参考になりました。日頃実感している学年の傾向を詳細に分析して貰えたことはとてもありがたかったです。今後の学生指導へ役立てたいと考えました。また、CSIテストによる自己分析結果からグループワークへ導入と展開が興味がありました。とても良い企画だったと思います。グループ分けも絶妙でした。ありがとうございました。
- * グループワークにコミュニケーション・スタイルを生かすこと、Zoomを用いた討議プロセスの共有・可視化は興味深い方法だと思いました。
- * 学生の大まかな傾向が聞けて参考になりました。また、アクティブラーニングは機会があればやってみようと思いました。
- * 大変有意義な研修会をありがとうございました。学生の状況については、実際に教えている実感と一致しています。参加者同士で行なったグループワークも楽しく効果的に進められ、ICTを用いたアクティブラーニングの可能性を実感しました。
- * 現実を基にしたデータによって企画されていたので、とても役に立つ内容と思いました。(学生のグループワークに対する意識が判って良かったです。)
- * 学生が授業、学習に対してどのような傾向にあるかわかって面白かったです。
- * コミュニケーションスタイルの分析結果が、授業時のクラスの雰囲気と呼応していて興味深かった。
- * 楽しくやりました。

2. 研修会で学んだことで、今後の授業に活かしたいと思うことを具体的にお聞かせください。

- * Zoomによるグループワークの展開や学生とのコミュニケーションのとり方 (Zoomでできることの幅を感じました)
- * グループワークの際に、コミュニケーションタイプを生かしたグループ分けやグループワークの導入を行うこと、また、Zoomの書き込み機能を使用したグループワークは、授業に取り入れたいと思った。
- * 来年度から始まる授業でコミュニケーションのタイプ認識はしてみようかと思っています。その方がグループで活動することがある場合に、チーム分けがしやすそうです。
- * CSIを用いたグループワークを是非検討したい。
- * 学生にやらせるには難しい。その理由は単純すぎる。
- * ①グループワークを行う際の組分のテクニック、②Zoomの新たな使い方
- * グループワークをする際に、C、Pタイプを散らすという発想は面白いと思いました。
- * 多くの学生がグループワークは苦手であり、CSIを使ってコミュニケーション特性を知ることにより相互理解が進むことについて、大変参考になりました。今後の授業で取り入れたいと思います。ただ、健康栄養学科などでCSIの構成比が変わるのは、実習等の経験で積極性に変化が生じるためではないかと想像します。最初から「自分は～タイプ」と決めつけず、違うタイプを演じる経験をさせてみるのも面白いと思います。
- * iPadを利用したグループワーク (Zoom) について、取り入れたいと思います。
- * 自分もグループワークは苦手と思っていますが、学生も苦手であることを認識し、各学生のタイプを知って接していきたいと思いました。